

ともしび

院長通信

平成21年度末から22年度初めにかけ、政界を取り巻く迷走ぶりは「目を覆いたくなる」を通りこして「目を覆わざるを得ない」状況になってきております。鳩山首相のリーダーシップのなさ、小沢幹事長のわがままさ、民主党のまとまりのなさ、政権政党と政府内閣との連携の悪さなど、迷走ぶりの様相は素人目にも明らかです。それに加え谷垣自民党総裁の優柔不断さ、舛添元厚労相や与謝野元財務相などの協調性のなさ等も加わり、新党乱立状態になってしまいました。このような日本が海外からどのように評価されるのか、ほんとうに心配になります。トヨタつづしに代表されるアメリカの日本バッシングは、日本政府の普天間問題に対する不信任が原因だという評論家もいます。アメリカは経済や財産に関する権利について自国の基準を周囲に押しつけてくるという点で非常に注意をしなければならぬ国ですが、現在日本がアメリカにそっぽを向かれたら北朝鮮などからの脅威に対して対処する術がないのも確かです。そのアメリカは現

第028号
発行所
両毛病院
編集 広報委員会

在の日本の政府に対して愛想を尽かしているようです。その上日本を通り越して中国と友好を深めています。チベット問題、台湾問題などを抱えながらアメリカと中国はすり寄っているようにみえます。これに対して日本の外交はどうでしょう。海底ガス田問題では中国と、竹島問題では韓国とそれぞれ何も糸口さえ見えない状況です。輸出入での関税問題でも、どうやら韓国に大きくおくれを取ってしまったようです。EUと韓国で輸出入の関税をかけないという調印をしました。これによって工業分野など輸出産業はお互いに安く売ることができるようになり、有利に働きます。しかし農業など輸入に頼っている産業は海外から安く買うことができるため国内の業者は苦境に立たされることになりました。韓国はこのバランスをいち早く捉え関税なしの方向へ舵をとりました。この方向が正しかったかどうかはすぐに結論がでるものではないでしょうが、国のリーダーが方向性をはっきり示したという点で見習わなくてはならない点がありそうです。日本の首相のように八方美人で八方ふさがりよりはだいたい信頼できそうです。

第318号 院長 秋山 一郎

施設見学会を受け入れて

日本精神科看護技術協会・栃木県支部主催による県内施設見学会が2月26日(金)13時30分より当院で開催されました。目的として「施設見学会を通して施設間の交流を図る」とのことでした。見学会内容を支部長と事前に話し合い当院での見学会は主に平成19年4月に完成した外来とリハビリテーション部門の見学会と社会復帰施設の充実した社会福祉法人ブローニユの森の二か所の見学会を計画しました。

県内18施設から看護職、精神科作業療法士、ソーシャルワーカーの方々総勢61名が来院されました。副院長の挨拶のあと、当院のあゆみをまとめたスライドビデオ(80周年記念式典で使用)を鑑賞していただきました。当院のあゆみは短時間でまとまっていて、当院の活動を知っていただくのに大変役に立ったように思われました。

次に4グループにわかれていただき、Aグループは3F作業療法室からデイケアへ最後に外来へと移動しました。3F作業療法室では活動状況や完成した作品を見学し、坂本作業療法士より、活動内容等の説明していただきました。次のデイケアではメンバーさんとの会話をしている方や活動の中に入り一緒に楽しんでいる方もいらつしやいました。最後に外来へと移動して外来受診の流れや医療福祉相談室の役割等の説明のあと、見学されている方から訪問

看護についてや患者さんが地域で生活する上での支援をどのようにしているのか等熱心に質問されている様子が伺えました。当院施設外の社会福祉法人ブローニユの森へはマイクロボスを利用して移動し、現地において海発総施設長より開設に至るまでのことや地域の方々のご理解とご協力していただいたこと、又事業内容や活動場所等の全体の説明をしていただきました。その後、グループホームみんなの家、わかたけ(共同生活援助)や弁当部(就労継続支援部)、共同住居等を自由見学となりました。それぞれの場所で担当スタッフとの質疑応答あり、またフレンド喫茶部(地域活動支援センター型)では参加者がコーヒーを注文し、くつろぎながらスタッフと会話をしている情景も見られました。

予定人数より多くの方々にご参加いただいたにもかかわらず、説明不足な点もあつたかと思いますが、地域と当院との密接な連携があり、退院後の患者さんにどのような関わりと支援しているかがお伝えできれば幸いです。最後にブローニユの森の皆さまに御協力いただき大役を無事終了できましたことに感謝いたします。

看護部長 殿岡 せき子



おいしかった耳うどん

1月16日、デイケア調理室において、家族会の新年会として恒例の「耳うどん作り」をしました。私自身初めて作るという事もあり、楽しみ半分・不安半分といった感じでしたが、野菜を切つて汁を作る班、うどん粉を延ばして耳の形を作る班に分かれ、御家族の方達と色々会話をしながら和気あいあいと楽しい雰囲気の中で行う事が出来ました。みんなで作った「耳うどん」は、とても美味しく心も体も温まりました。食後は、御家族同士の交流の場となり、カラオケをしたり、ギターや琴の演奏もあつて至福のひとつを過ごす事が出来ました。初めて参加した御家族の方からも「本当に楽しかった。また参加したい。」と嬉しい感想も聞かれました。この「家族会」の活動を通じて御家族同士が支え合い、不安や疑問に思っいたらっしやる事を一緒に考え、解決出来るお手伝いが出来ればと思っております。



家族会委員会

アニバーサリーデー

誕生日は自分だけの大切な年に一度の記念日です。皆さんは御家族やご自分の誕生日をどのようにお祝いされていらっしゃるでしょうか？ 当院では毎月、入院されている患者さんの誕生会を行っています。

始めに一人ずつ簡単な自己紹介をし、ハッピーバースデーの合唱やビンゴゲームを行いました。自己紹介では少しはにかんでいた患者さん達もビンゴゲームになると目を輝かせてカードを見るのに集中しています。そして次々とビンゴの声が上がります。嬉しそうに賞品をいただいでいきます。最後に美味しそうなケーキを前にして患者さん達は満面の笑顔になっていました。普段よりちょっと特別なひとときを過ごされ、喜んでいただけたのではないのでしょうか。誕生日などのイベントを大切に過ごす事は、幸せな時間の積み重ねになり心の栄養をつくるのだそうです。これから、患者さんが笑顔で楽しく過ごしていただけるよう、お手伝いさせていただきます。



看護部

患者さんの新年会

平成22年1月24日に、毎年恒例の患者さんの新年会を行いました。今回は「マリアージュ仙水」で明るく開放的な雰囲気の中、にぎやかな会となりました。

カラオケでは沢山の患者さんが参加され、その美声に聴き入る場面もありました。また、パズルゲームの時は各テーブルごとに一致団結し答えを出し合い、普段あまり積極的ではない患者さんも答えを述べるなど、大変な盛り上がりとなりました。

食事は洋食のコース料理となっており、味と共に色彩も楽しみなが、また患者さんが食べやすいように工夫がほどこしてありました。

新年会に参加させていただき、患者さんの新たな一面を発見することができ勉強にもなりました。これからも患者さんに楽しんでいただけるような新年会にしていきたいと思っております。



看護部

小春日和だった初午見学

3月5日、デイケアでは初午見学に出掛けました。天気予報では、当日雨とのことで、参加人数は9名ほどでした。当日は天気予報とはうらはらに小春日和になりました。「あたしも行く、俺も行くかな。」と、参加者が14名になりました。付き添い職員も2名から3名に増員されました。堀米駅まで歩いて行き、あまり乗る機会が少ない電車に乗って行きました。

田沼駅に着くと賑わいを感じました。帰りの集合場所を確認した後、それぞれに分かれました。初午と言えば、しんこまんじゅうです。メンバーさんは、初めにしんこまんじゅうを買いました。その後、露店を見て回りました。色々な露店が出ていましたが、歩いていると喉が渇き、みんながかき氷を食べることにしました。私達がかき氷を食べていると、次から次へとかき氷を買いにお客さんが来ていました。最後に稲荷神社にお参りをして、集合場所にもどりました。集合場所では、他のメンバーさんが露店のくじで玩具が当たったことなど、話されていました。帰りは電車に乗らないで、迎えにきてくれたマイクロバスでもどりました。天気も良く、風もなく、穏やかに見学することができました。

リハ部デイケア室

同好会紹介(5)

フットサル同好会

2006年6月ジーコJAPANがFIFAワールドカップに出場。日本中が盛り上がりつつある中、私たちが「ボールを蹴ろう」と市内の河川敷へ病院職員、患者さん、社会復帰施設スタッフが集まりボールを追いかけて汗を流していました。河川敷には、私たち以外にもサッカーを楽しんでおり、小中学生や社会人、南米の方々(チリ?ブラジル?)まで様々、交流戦を行うこともありました。

6月22日ワールドカップ1次リーグ最終戦、対ブラジルを明日に控え、私たちはその日も河川敷に集まりました。偶然にも南米の方々が遊びに来ており、早速交流戦を行うことになりました。「まさに前哨戦だがね」そんな佐野弁が飛び交う中、白熱した交流戦が始まりました。南米の方々の身体能力の高さとテクニクには圧倒されましたが、我々も負けてはいません。攻撃的フォワードAさん(一度攻めこんだら相手チームのゴール前にずっと立っている)、ジーパンデカならぬジーパンミットフィルダーBさん(ジーパンにサンダル姿で走り回る姿は周りを魅了する)、攻撃的、口撃的ボランチCさん(指示、野次のみでほとんど動かない...)と様々(汗)・・・楽しく気持ちの良い汗を流したことを覚えていきます。

活動も徐々に活発となり、2008年8月、両毛病院フットサル同好会が発足しま

した。現在の構成メンバーは、病院スタッフとその家族、外来患者さんも参加しています。昨年からは女性スタッフも加わり秀郷祭り(佐野市主催)のフットサル大会へ見事デビューを果たしました。サッカー経験者はほとんどいませんが、最近では徐々に力も付き、試合では連携プレーやフラインプレーも飛び出す等盛り上がりつつあります。毎月1回、2回程度の練習試合を主に一般チームとの交流戦や県内の精神科病院チームとの親善試合も行っています。今年も引き続き、様々な方々との交流、出会いを大切に当同好会を盛り上げていきたいと考えています。

最後に当同好会の見どころと致しましては、我々の守護神(ゴールキーパー)！中肉中背筋肉質、ゴルフウエアーを身にまとい四十路にして驚異的な反射神経で鉄壁の守備を誇るF氏。時にはゴルフの手袋をするチャイミングなところもあり、かなり戦闘能力を秘めています。必見ですよ。我こそは得点を決めたいという「あなた」練習試合をお待ちしております。

リ八部



両毛の将棋迷入!? 出陣!!

3月11日、毎年恒例になっている地域との交流を兼ねた将棋大会に患者さんと一緒に参加しました。大会は午後からであった為、みんなで昼食に佐野ラーメンを食べてから会場へ向かいました。今年の会場は、足利の社会復帰施設「だんだん」で開催されました。

会場へ向かう車中では、緊張感がたかまり、「負けちゃうかもじゃない...」「勝てるかな...」などの発言が聞かれました。すると、あるデイケアのメンバーさんから「ラーメンが食べられたからいいじゃん」と鶴の一声。その一言で車内は和みました。

いよいよ会場に着き、決戦となりました。両毛の棋士達は、それぞれ対局の場へ向かいます。結果は、上位独占!!とまではいきませんが、最高4位と素晴らしい成績を残し、満足した表情で帰りました。

リ八部 作業療法室



春の嵐の中で

3月29日、毎年恒例の草もちつきが開催されました。

この日は準備する前に雨が降ってきた。突然風が強まり、3月末だというのに雪が降り嵐のような日になってしまいました。ですが、患者さんが楽しみにしている行事ということもあり、雨が降っても大丈夫なように会場を設置し、いよいよ始まるうとした瞬間、皆の願いが通じてか空が晴れ渡りました。杵で蓬をすりつぶし、蒸した餅米を入れ、杵をつき始めると、寒い中、周囲で見守っている患者さん達の「ヨイショ!ヨイショ!」との掛け声で会場も盛り上がり、「私もやりたい!」「昔のことを思い出すね。」と患者さん達も杵をつき、皆楽しそうな表情で満ちあふれていました。草もちができて間、会場ではカラオケや輪投げを楽しみ、草もちができてあがると皆で美味しくいただきました。

終始、笑顔と笑い声に包まれた、寒さも吹き飛ばすような楽しいひとときでした。

看護部



委員会活動報告

環境整備・エコ委員会

エコ活動

これまでのエコ委員会の活動は、省エネ型(節電・節水・リサイクル)スタイルを主とした「無駄を無くし、勿体ないという心」の意識改革を行い、定着できるように、できるものから取り組んで来ました。

今日に至っては、「地球温暖化防止対策」推進を目的とした事業所単位での環境重視のエコ活動が発展し義務化されてきました。これらの状況を踏まえ当院でも取り組んで行かなければならないことから、「環境整備・エコ委員会の基本方針」に基づき、環境にも配慮したエコ活動が病院全体に普及、定着できるように努めていきたいと思っております。

皆様への一層のご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

基本方針

地球温暖化対策CO₂(二酸化炭素)排出減を目的とした先進国人としての自覚向上を図っていく。

病院としてできる様々なエコ活動が、ひいては地球温暖化防止対策となるよう考慮し活動して行く。

限りある資源を大切にす資源の有効利用と、浪費(省エネ)を押さえた還元利用を図って行く。

病院外回りの緑化整備(花壇や木々の植栽)を積極的に行い、CO₂(二酸化炭素)削減効果に貢献して行く。また、患者さんや職員の心が和みフレッシュになるような環境整備に考慮する。

環境整備・エコ委員長



このポスターを院内に掲示しエコ活動の啓発に努めています。

お知らせ

4月1日より秋山佳子医師による内科外来が始まりました。診療日は、月・火・水・金曜日の午前中となっております。

連絡先

医療法人秋山会

両毛病院

〒327-0843
栃木県佐野市堀米町一六四八
〇二八三 一三二 六一五〇